



札幌の冬の魅力を子どもたちに届けましょう！ 雪学習NEWS

札幌市内小学校教諭向け

雪学習NEWSでは、札幌市の小学校教諭に、札幌の冬についての話題や知識などを、冬のシーズンを中心に、定期的にお届けします。



光に願いを、すべての人に喜びを

11/21(金)より開催

2025 さっぽろホワイトイルミネーション(第45回)

【同時開催】ミュンヘン・クリスマス市 in Sapporo [会期: 11月21日(金) - 12月25日(木)]

札幌の冬を彩る光の祭典「さっぽろホワイトイルミネーション」が、今年も大通公園や駅前通などを舞台に開催されます。「冬の始まりにも多くの観光客に札幌を訪れてほしい」という願いからこのイベントは生まれました。岩川浩大係長によると、第1回が開催された1981年は、ニューヨークのロックフェラー・センターのクリスマスツリーに着想を得て、わずか1000球の電球で点灯がスタートしたそうです。今では札幌を代表する冬の風物詩として、多くの人々を魅了しています。第45回目の今年は、約70万個ものLEDが輝きを放ち、訪れる人々を幻想的な世界へと誘います。今年はオブジェの追加や演出がリニューアルされ、より一層色彩豊かな光の演出が楽しめます。さらに、数日間限定の特別演出も予定されており、何度訪れても新しい発見があります。家族や友人など、それぞれの願いを胸に、きらめく光の中で特別なひとときを過ごしませんか。



ニューヨークのロックフェラー・センターのクリスマスツリー

2025
さっぽろホワイトイルミネーションの会場等詳しくはこちら！



お話を伺いました！



一般社団法人札幌観光協会
イベント部 係長
岩川 浩大氏



初夏から始まる!? さっぽろホワイトイルミネーション

長い冬の訪れとともにスタートするこのイベントですが、実は初夏から本格的な準備が始まっていることをご存じですか？

「さっぽろホワイトイルミネーション」は、6月頃に行われるコンペティションで会場管理者が決定し、7月から札幌市・札幌観光協会や関係業者が協議を重ね、入念な準備が進められていきます。今年は11月21日に華やかに点灯式が行われ、街を照らす光は12月25日まで市民や観光客を魅了し続けます。その後はイルミネーションが撤去され、次の雪まつりの準備へと作業は続いていきます。

イルミネーションの撤去と雪まつりのプレハブ設置などの準備は年末のわずか数日で同時に行われ、その際には大通公園の1会場で100人近い方が作業に関わっていることもあるそうです。大勢の方の熱意と職人技が結集したイベントなのですね。

イベントの資金はどこから!?

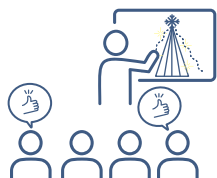
他の地域では有料のイルミネーションもある中、「さっぽろホワイトイルミネーション」は誰でも無料で楽しむことができます。札幌市や企業、協力会社の支援で運営され、収支はほぼ同じだろう。多くの人々の協力で支えられている背景を知ると、この光景が一層あたたく心に響いてきますね。



【主な行程】

6月頃

3年毎のコンペティションで会場管理者が決定！



7~10月

札幌市・札幌観光協会と関係業者で協議を重ねて準備を進める。



11月

会場設営がスタート。



11月下旬

イルミネーション点灯開始！



12月下旬

イルミネーション撤去と雪まつり会場の準備開始。



【取材・原稿執筆】飯嶋 孝行 教諭(北海道教育大学附属札幌中学校)、西森 美紀 教諭(札幌市立八軒西小学校)

※このニュースレターは、札幌らしい特色ある学校教育「雪」学習の活性化を願い、教師向け参考資料として発行しています。

エコな光が札幌を照らす!?

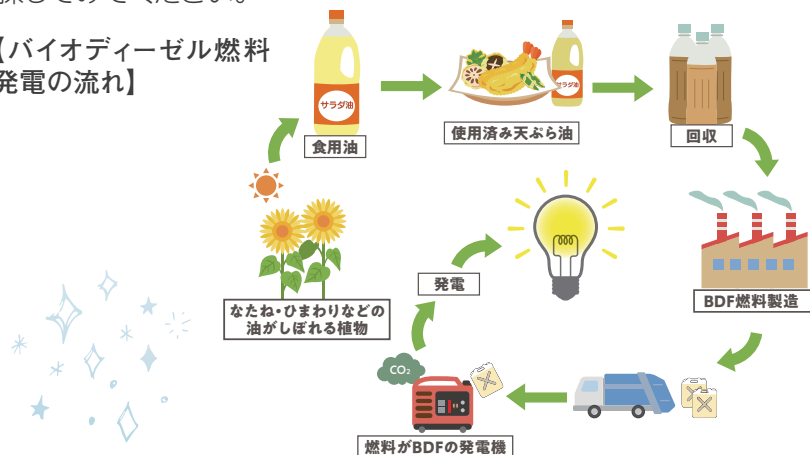
さっぽろホワイトイルミネーションで使用しているLEDは約70万個。年々、来場者だけでなく使用する電球の数も増えています。規模の大きなイベントですが、環境にやさしい取組も数多く実施されています。

1つ目は、全会場でのLEDの使用です。約70万個全てをLEDに切り替えたことで、消費電力は従来に比べて90%以上削減されました。

2つ目は、バイオディーゼル燃料による発電です。大通会場1丁目のイルミネーションは、自家発電で電力を賄っています。この発電機の燃料には、家庭などから回収された使用済み食用油が活用されています。開催期間中も専用ボックスで油の回収を行っており、皆さんが使用した食用油が札幌の光を照らすエネルギーになるかもしれません。

そのほかにも、植物と土中の微生物の生命活動による電気を活用した「ボタニカルライトクリスマスツリー」の設置や、大通会場5丁目に設けられる、気象条件の変化に合わせて光の演出が変わるイルミネーション「モア・スターズ」なども見どころです。会場を訪れた際には、ぜひ探してみてください。

【バイオディーゼル燃料発電の流れ】



ミュンヘン・クリスマス市 in Sapporo会場パビリオン内にある「ボタニカルライトクリスマスツリー」



大通会場5丁目に設置されている「モア・スターズ」



大通会場2丁目ヴァイナハツパビリオン内に設置されている廃油回収ボックス

世界に届く光の煌めき

「さっぽろホワイトイルミネーション」は、今では市民だけでなく、世界中から多くの観光客が訪れる一大イベントとなりました。会場には英語だけでなく、さまざまな国の言葉で書かれた看板が設置され、外国語対応スタッフが外国からの来場者をサポートするなど、あたたかいおもてなしが広がっています。

札幌の冬を彩る光の祭典は、今や世界に誇れるイベントへと成長を続けています。会場を訪れた際には、ぜひその美しさとやさしさを感じてみてください。



会場内にある多言語看板



海外観光客を案内するスタッフ

【原稿執筆】種谷 富茂華 教諭(札幌市立藤の沢小学校)、中島 裕美 教諭(札幌市立上白石小学校) 【雪学習ニュースレターNo.57企画編集】神林 裕子 准教授(藤女子大学)



このニュースレターや冬や雪に関する指導案等は札幌市役所HPから、ダウンロード可能です。

【ホームページ】<https://www.city.sapporo.jp/kensetsu/yuki/yukigakushu/>

校務・教育系システムのポータルサイトからも閲覧可能!

【発行・お問合せ】札幌雪学習プロジェクト事務局(札幌市建設局雪対策室事業課) TEL:011-211-2662 FAX: 011-218-5141

雪に関する写真や動画等、いろいろあります!

札幌雪学習

検索

雪学習HPIはこちら

